

## 平成22年度第1回理事会議事録

日時：平成22年5月28日（金）18：00～20：00

場所：（財）電力中央研究所（東京都千代田区大手町）

構成員現在数：18名

出席理事：數土、武藤、山下、香田、渡辺、櫻尾、桑畑、大澤、米沢、牧本、山本、小沢、猿渡、古藤

書面表決：加藤、塩出、西崎、村松

出席監事：中川

オブザーバー：片平

事務局：丸山

### 1. 自己紹介

(審議事項)

2. 平成21年度第7回理事会議事録の件  
渡辺理事より説明があり、承認された。

3. 平成22年度通常総会議事録の件  
渡辺理事より説明があり、承認された。

4. 入退会承認の件  
渡辺理事より説明があり、承認された。  
・通常総会において、シニア会員制度、グループ会員の創設がなされたことを確認した。

5. 平成22年度委員会委員・幹事委嘱の件  
各委員会について担当理事から説明があり、承認された。  
・会長より、広報委員会を広報組織委員会とするとの提案があった。

6. 平成22年春季研究発表会終了及び決算報告の件  
大澤理事より説明があり、承認された。

7. 第63回シンポジウム収支決算の件  
大澤理事より説明があり、承認された。

8. 平成22年秋季研究発表会予算案の件  
大澤理事より説明があり、承認された。

9. 平成23年秋季研究発表会開催日程の件  
大澤理事より説明があり、承認された。

10. 特定資産積立金規定改定の件  
事務局長より説明があり、承認された。  
・平成22年2月、文科省による「内部留保の状況について」の調査による指摘事項を反映した、規定の改正案について説明があり、承認された。  
・公益法人としての会計法と文科省による会計法との違いを確認することになった。

11. 支部決算報告の件（資料回覧） 北海道支部、東北支部  
資料が回覧され、承認された。

(報告事項)

12. 公益法人化の件

渡辺理事より、公益法人化の概要について説明があった。

- ・現在、公益法人として認可されている学会、あるいは他学会の動向を引き続き調査し、慎重に意思決定していくことが確認された。
- ・理事等の被選挙権については検討中であるとの説明があった。
- ・支部をどのように規定するかは現在検討中であるため、現在の新定款案には掲載されていないことが報告された。
- ・新定款について、指摘・質問があれば7月の第2回理事会前までに、渡辺理事に連絡するよう依頼があった。
- ・法人会員・賛助会員に関する定款・規定を見直していくよう提案があった。

13. F M E S の件

香田副会長より、平成22年6月から3年間、日本オペレーションズ・リサーチ学会がF M E S 事務局を担当することについて説明があった。

- ・主な作業はシンポジウム開催、およびJ A B E E との取次であるとの説明があった。
- ・F M E S への年会費が本年度から10万円に引き下げられたとの報告があった。
- ・事務局を引き受けるに当たり、F M E S より年間36万円の資金提供があることが報告された。
- ・F M E S に加入していることのメリット・デメリットを見直し、脱退も含め、F M E S への参加姿勢を本年度中に再検討することが会長より提案された。

14. 対外委員活動の件

事務局長より説明があり、資料を確認した。

- ・横幹連合についても、連携意義等のあり方を再検討していくよう、会長から提案があった。
- ・6月18日に予定されているF M E S シンポジウムへの参加者が少ないので、理事等からも参加者を募るよう依頼があった。

15. 平成22年度理事会スケジュールの件

事務局長より説明があり、第4回までの理事会と支部長会議についてスケジュールを確認した。

16. その他

- ・議決事項と審議事項の区別について定款等を確認し、必要であれば議事を、議決事項、審議事項、報告事項の三種類に分類するよう提案があった。
- ・会長より「賛助会員入会のお願い」(別紙)による賛助会員勧誘が行われる旨、報告があった。理事からも、賛助会員増強に向けて積極的に働きかけるよう依頼があった。

次回理事会 平成22年7月30日(金) 18:00 (財)電力中央研究所

以上

書記：庶務幹事 福田恵美子